

ライブラリーナビゲーター Library Navigator

Special Feature 1

図書館の達人に訊く!
いちおしの一冊 &
いちおしの活用術

Special Feature 2

2007年度前期
利用ランキング発表!!

CONTENTS

- P.2 大学生のうちに読んでおいてほしい本
- P.3 [特集1] 図書館の達人に訊く! 一押しの一冊
図書館の達人に訊く! 一押しを活用術
- P.9 [特集2] 2007年度前期 利用ランキング発表!!
- P.12 学生ライブラリースタッフの紹介
- P.13 Information
立命館大学図書館開設百周年記念展覧会・シンポジウム
新規データベースの導入
図書館ホームページのリニューアル

立命館大学
図書館だより

2007.11

104

大学生のうちに 読んでおいてほしい本

vol.1 宝月 誠 先生 (産業社会学部教員 / 図書館長)

今号はコレ!



社会とは何かを考える、目からウロコの1冊。

『自殺論』デュルケーム著・宮島 喬 訳 (中央公論社) 1985年

人生の浮き沈みを語る小説は興味深い。この種の小説と最初の出会いはフィッツジェラルドの『グレートギャッピー』である。大学に入りたての頃の語学の授業で「読まれた」ものであるが、洋書のペーパーバック特有の匂いが懐かしい。この小説は映画化され、ご存知の方も多いと思うが、20世紀初頭のアメリカのいわゆる「金びか時代」を走り抜けた青年の栄光と挫折の物語である。この種の小説に私の好きなものをもう1冊加えさせてもらうならば、1997年に新訳の出たドライバーの『シスター・キャリー』(岩波文庫)をあげたい。農村部からシカゴに仕事を求めて出てきた田舎娘は、魅力的な小悪魔に変身し、さらに男とニューヨークに出奔して女優に上り詰めて行く姿は、彼女を取り巻く男性たちの運命と重ね合わせるとき、悲しくもあり滑稽でもある。個々の生身の人の目線から人情の機微や人生のドラマを描いてみせるドライバーの手法は、単なる社会派の作家では収まらないものを感じる。

だが、私が推奨したい本はこうした小説とは異なるデュルケームの『自殺論』(中公文庫)である。この本を最初に読んだのは大学の専門課程に進んだ頃であったが、まさに目から鱗が落ちた。というのは、それまで親しんできた小

説の世界と違う社会の捉え方が示されていたからである。デュルケームは自殺を集合的に捉え、社会ごとに異なる「自殺率」の差異がなぜ生じるのかを実証的に説明する。自殺率の差異を生み出す「社会的潮流」として、彼は「自己本位主義」「集団本位主義」「アノミー」の三種の力をあげ、これらのいずれかが過剰になりすぎた状態において、それに対応して自殺が増減することを、統計的データを駆使して論証している。現在から見れば、彼のデータや分析はプリミティブなものであるが、私が感じた新鮮さは、自殺というきわめて個人的な現象を社会現象として捉えるその視点であった。社会は諸個人の単なる集合ではなくて、それ自体の作用を有する独自の存在であり、こうした社会的な力は、個人の外部にあるものである。個人だけを観察しては決して見えてこない。自殺者の動機や資質を調べるだけでは、自殺率の増減は理解されないのである。

分かりやすいこともあって、個人の行為に還元して捉える視点に人はとらわれやすい。しかし、社会それ自体の作用があることにも目を向けるために、ぜひデュルケームの作品を一度読み解いていただきたい。社会とはなにかを考える宝庫である。

図書館の達人に訊く! 一押しの1冊



このコーナーでは、図書館をよく利用している学生の、推薦の図書を紹介します。産業社会学部・文学部・政策科学部・経済学部・理工学部の学生のそれぞれの視点で、図書から得た発見や感動を紹介します。いずれの図書も立命館大学の図書館に所蔵しています。図書館の250万冊以上の図書の中から、あなたの1冊を探してみてください。

達人その1 産業社会学部 1回生 清水 良平さん

『広い宇宙に地球人しか見当たらない 50の理由』

スティーヴン・ウェブ 著 (青土社) 2004年



町の書店や図書館をぶらぶらと散策していると思いがけず興味深い本に出会うことがあります。今回ご紹介しようと思う本、『広い宇宙に地球人しか見当たらない50の理由』もそんな幸運な偶然から読み始めた1冊です。

「宇宙人は本当にいるのか?」という疑問は多くの人にとって馴染み深く、そしてどこか懐かしくすらある疑問のひとつだと思います。この本ではそんな誰もが一度は抱いたことのある疑問について、物理学者である著者が、「宇宙人はもう地球に来ている」「存在するがまだ連絡がない」「存在しない」という3つの観点から、50に及ぶ仮説を検証していきます。これらの検証の過程には、物理学はもちろん数学、化学、心理学、哲学など幅広い学問的知識が駆使されており、文系の私が読んでいても十分に刺激的に感じられました。ちなみに本著で論じられている仮説は、上記の

ように科学的で含蓄の深いものが大半なのですが、個人的には「宇宙人はもう来ていて、ハンガリー人だと名乗っている」や「宇宙人はインターネットに夢中で惑星の外に出ようとしない」といったキワモノな仮説もユーモラスで好きです。それはさておき、「宇宙人は本当にいるのか?」という疑問は突拍子もないもののように、実は「人間とは何か?」というあらゆる学問の根本に潜む疑問と表裏一体の関係にあるように思います。それゆえに本著に示されている多種多様な考え方に触れることは、新たに学問に対して興味をもつ手がかりにもなるのではないのでしょうか。

今回ご紹介した著書のような、読み応えのある研究書や新書を読み終えたときの充実感、豊かな小説を読み終える最後の数ページをめくるときの寂寥感と同じくらい価値のあるものだと思います。そして、こうした万般の感動が息づく図書館を平日の午後に何気なくぶらついてみるのも大学生生活の贅沢な楽しみ方の一つなのではないでしょうか。

宇宙人は本当にいる?!
文系人間にも
楽しめる物理学。



達人その2 文学部 2回生 間杉 直子さん

『チャップリン再入門』

大野 裕之 著 (生活人新書 141) 2005年



今年が映画の王様チャップリン没後30年って知ってました? 趣味に映画鑑賞を挙げる大学生は多いと思いますが、チャップリンは余りに有名過ぎて、かえってちゃんと見た事がある人は少ないと思います。それに見ようと思っても数が多すぎてどれから

見たらいいのかわからないですよね。そんな人にお薦めするのが『チャップリン再入門』です。チャップリンとその作品を年代ごとに様々な切り口で分析している本なのですが、「再入門」の名前の通りとにかく分かりやすい! 主な作品には丁寧なあらすじと写真が付いています。これを読んだ時、私は全くチャップリンの映画を見たことがなかったのですが、読み終わってチャップリンを1度見てみようかと思った

読み終われば
絶対にチャップリンの作品が
見たくなる!



時に、このあらすじがどれを見るか判断する良い材料になりました。個人的に面白かった所として一つはチャップリンと日本の関係です。秘書が日本人だったとか、チャップリンの作品を歌舞伎化したものがあるとか、私たち日本人には見逃せない意外な事実が分かります。もう一つは映画の未公開NGフィルム。チャップリンはどんなシーンでも自分が納得するまで何度でも撮り直しました。その為に400巻ものNGフィルムがあって、普通焼却されるはずなんです

が、何の因果か今もイギリスに残っています。これを全て見た人は著者の大野裕之氏を含め世界でまだ3人だけ、それを更に整理・分析したのは大野氏だけだそうです。その分析は『チャップリン・未公開NGフィルムの全貌』（大野裕之、NHK出版）に詳細が載ってます。映画好きもそうでない人もどうぞこれを機会にぜひ「再入門」を読んでみてください、読み終わったら絶対チャップリンが見たくなるはずです。

達人その3 政策科学部 2回生 田代 和也さん

『哲学入門』 H・ノール 著 (玉川大学出版部)1996年

『世界史物語 ビジュアル版』 西村 貞二 著 (講談社)1992年

『科学哲学の冒険』 戸山 和久 著 (NHKブックス)2005年

『社会科学入門 知的武装のすすめ』 猪口 孝 著 (中央公論社)1985年

人文科学・自然科学・
社会科学、
興味や関心に応じて
本選びを。



初めて読書に挑戦する場合は、自分の関心があるテーマを一つに絞って本を探していけばいいでしょう。例えば真理、正義、人間について考えたい人には哲学や心理学、文学などの人文科学の本がお薦めできます。特に哲学は物事の本質を考える

には絶好の学問です。H・ノール氏の『哲学入門』はとにかく読みやすく、誰でも一度は持つ哲学的な疑問の解説から始まって、これまでの代表的な哲学者たちの思想を紹介してくれます。人文科学の一つである歴史の本も世界観を広げる知識の宝庫です。

世界史の本を挙げれば、物語のように歴史をまとめていて絵図が豊富な西村貞二氏の『世界史物語 ビジュアル版』が良いでしょう。記述は20世紀で終わってしまっていますが、要点がまとまっています。

自然を支配する普遍法則を理解したい方には物理学や生物学など自然科学の本がびったりですが、これを楽しむ

ためには基礎知識が少し必要になります。そんな人には普通の入門書よりも科学そのものの本質や真実を探究するための思想を対話形式で解説した戸山和久氏の『科学哲学の冒険』がよいかもしれません。比較的短い本なので読みやすいだけでなく、科学の正しさや自然の真理は何かについても考えさせ、自然への関心を高めてくれるでしょう。

また人間社会の本質や今の国内、国際情勢に関心がある人は政治学、経済学、社会学などの社会科学の本を読むべきですが、それぞれの学問の本格的な入門書を読む前に、猪口孝氏の『社会科学入門 知的武装のすすめ』を読むことをお薦めします。政治学、経済学、社会学の内容だけでなく、社会科学の考え方や資料の読み方などの大学生活でも役立つ技能についても言及しているので、勉学のためにもとても参考になります。

図書館にはあらゆる分野の本が集められているので、どんな分野の本でも一度は手にとって読んでみてください。

達人その4 経済学部 2回生 松本 雄一郎さん

『入門経済思想史 世俗の思想家たち』

ロバート・L・ハイルブローナー 著・八木 甫 [ほか] 訳 (ちくま学芸文庫) 2001年

有名な思想家たちの
興味深いエピソードが満載。
経済学史の入門書に。



私が本の紹介を頼まれたときに、『ヤバイ経済学』（東洋経済新報社）という本を読んでいた。するとこの本のことが序章で薦められていたのだ。私はこの本を昔読んだことがあるので、この本を薦めることにした。紹介文を書く前

にもう一度読んでみることにしたが、前には気づけなかったところに目がいたりして面白く読むことができた。

この本には1639年の神学教師が多く利潤を得ただけで破門にされそうになったというエピソードやフーリエ（社会主義者）が地球は80,000年の寿命で、最初の半分が進歩、残りが退歩の歴史をたどるとするという妄想に取り付かれていたというエピソード、ウェブレン（米国の経済学者）がすべての生徒にCの成績をつけていたことなどいろいろなことが

書いてある。もちろんまじめな話もあるし、おもしろい。例えばマルクスに反対して、資本主義は失敗して滅ぶのではなく、その成功ゆえに滅ぶというシュンペーターという経済学者がした主張が載っている。

この本は経済学の歴史について知るにはとてもよいと思う。資本主義の誕生から、アダムスミス、リカードウ、マルサスに、その次はマルクスを経て、ウェブレン、ケインズ、シュンペーターで終わる。

この本は厚め（500ページ程）だが比較的読みやすく経済学史や経済思想史の授業の副読本としてもよいだろう。もっと教科書的な本がいい人は『経済学の歴史』（有斐閣）がよい。個人に視点を合わせた本としては、『ケインズ』（ちくま新書）、『ケインズとハイエク』（中公新書）、次は経済というより人文科学的だが『マルクスその可能性の中心』（講談社学芸文庫）なども薦められる。

達人その5 理工学部 3回生 神田 大樹さん

『ご冗談でしょう、ファインマンさん』上・下

R.P. ファインマン 著・大貫 昌子 訳 (岩波現代文庫) 2001年

食事も忘れて読破した
天才物理学者による
破天荒なエッセー。



物理学者と言えば固い人だなと思ったことがあるのではないですか？ そんなあなたに読んでもらいたい本があります。『ご冗談でしょう、ファインマンさん』という本です。この本が君のイメージを変えます！

ファインマンは天才的な物理学者のことで、僕があこがれる人の一人です。紹介した本は、そのファインマンのエッセーです。彼の獨創性や破天荒なところにはいつも驚かされてしまいます。彼は学者みないなところはほとんど見せずにいたらしく、金庫破りをしたり、マヤ文明の文字を解読したり信じられないような話ばかりが彼の足跡として残っています。特に、彼がたくさんの女の子と遊びほうけていた話には唖然としました。そんな

ふざけた彼の話が多く残っているけれど、学生時代からの知り合いだった最初の奥さんを早く亡くしてしまうところには感傷的になりました。物理以外の話ばかりだけど、自然に対する見方やすばらしい教訓のような話もあります。それらの中でも一番気に入っているのはファインマンがスランプから立ち直るとい話です。どんな人でもあるスランプ、それからの復活は彼の場合、天才的だった。自分が物理で遊んでいただっと思って立ち直ります。しかも、そのあとすばらしい仕事を成し遂げます。やっぱり、天才には追いつけないなと思いました。でも、それに近づきたい。そういう気持ちにさせてくれる話です。

少しだけこの本を推薦する気持ちをわかっていただけましたか？ 僕はこの本を食事も忘れてすぐに読み終えてしまいました。みんなにもぜひ読んでほしいです。



図書館の達人に訊く! いち お 一押しの活用術

このコーナーでは、図書館をよく利用している学生の、図書館活用方法を紹介します。
法学部・国際関係学部・映像学部・経営学部・情報理工学部の学生から、
それぞれの学習形態にあわせて図書館を上手に活用している実例を紹介します。
館内で、あなたのお気に入りの書棚、お気に入りの席を見つけてください。

達人その6 法学部 3回生 酒井 優一さん

図書館で勉強することで時間を有効活用。 分からないことがあっても、その場で調べてスグに解決!

私はほぼ毎日図書館を利用しています。その主な利用方法は図書館を自習室代わりに使うというものです。

なぜ、図書館で勉強するのかというと、まず、学校にはほとんど毎日授業で来るので、学校外の施設に行くことを考えれば無駄な時間がかからないということが最大の理由です。また、他にも、例えば、私は法学部の学生なのですが、法律の勉強をしていて教科書を読んでも分からないことや分かりにくいこと、知らない単語が出てくるということは多々あります。そういうときに、図書館には多くの法律書（もちろんそれにかぎられませんが）がありますので、それらの本を見て、その場でスグに解決できたり、納得できたりするのも利点だと思います。もちろん、参考書を買うということもひとつの手だと思いますが、見たい部分はその本のごく一部だったり、あるいは数行であるなら、わざわざ買わなくても、図書館の本を利用すればいいと思います。

また、本だけでは分からないことや、本には新しい情報が載ってないこともあります。そういうときには、パソコン

ルームもあるので、新しい情報をインターネットを使って得ることができるので、勉強するには困ることはありません。また、図書館では他にも多くの人が勉強しているので、そういう人たちを見ていると、自分ももっと頑張ろうという気になれます。せっかくこういう施設があるので、皆さんももっともっと有効活用していきべきだと思います。



達人その7 国際関係学部 4回生 本田 明夏さん

ウェブページ「MyLibrary」で読みたい本の予約・取寄せを。 貸出状況の確認や、貸出延長もボタンひとつで簡単にできます。

私が日頃、立命館大学の図書館で「ここが便利だ」と思ってよく利用しているのは、ウェブ上での書籍の予約・取寄せ制度とMyLibraryのページです。

実は、私が1、2回生だった頃はウェブページを使った図書館の利用に慣れていなかったために、読みたい本が自分

の所属キャンパス（衣笠）になかったり、すでに誰かに借りられていたりしていると、すぐにあきらめてそのまま忘れてしまうことがほとんどでした。また、返却日が気になるのが嫌で、本をたくさん借りることを渋ってもしました。

でも、ある日、他キャンパスの図書館の本を試しに取寄

せてみたところ、取寄せ作業自体はウェブの検索ページから簡単にできるし、カウンターでの受取りも思った以上に楽だと感じました。それ以来、読みたい本がすぐに手に取



れなくても、必ず予約・取寄せをするようにしています。そうすると、本が届いたときにメールで連

絡が来るので、読みたい本を忘れてしまうということもありません。

その後、たくさん本を借りるようになったので、返却の期限がばらばらなのが大変だったのですが、MyLibraryのページで貸出状況を確認したり、ボタンひとつで延長をしたりできることに気づき、今ではこれよく利用しています。

以上が、私の主な図書館利用の様子です。読みたい本をたくさん借りるという単純なものなのですが、私の場合はウェブページの活用のおかげで本を読む機会や興味・関心の幅が広がって、とてもよかったと思っています。

達人その8 映像学部 1回生 高木 雅文さん

勉強への意欲が低くなったときこそ図書館へ。
周囲で勉強している学生の姿が刺激になります。



20年ぶりに改めて学生生活を送ることになり、楽しみにしていたことのひとつが大学図書館の利用である。インターネットで情報を調べ、パソコンでレポートや課題を制作し、それをメールで提出することも今では当たり

前になっている。マルチメディアルームのように、図書館の環境や利用法も以前の学生時代とは様変わりしているところもある。しかし、机の上に資料や参考文献を広げて熱心に勉強する学生の姿は以前となら変わっていない。

授業の合い間や放課後に時間のあるときは、とりえず図書館に足を運んで授業の予習・復習をするようにしている。久しぶりの勉強であることに加えて、予想していたよりも課題やレポートも多く、ともしれば根気と集中力を失いがちになるのだが、図書館内では周囲の勉強する学生の姿が自己の怠惰への叱咤となり、勉強への熱意を呼び覚ましてくれる。実際、どの時間帯でも(夜10時の閉館間際や休日でも)かなりの数の学生が机に向かってる姿を見ると、自分の勉強に取り組む姿勢を真摯に考えざるをえない。それゆえ、むしろ勉強への意欲が減退しているときにこそ、図

書館を自習のために使う意義があるのかもしれない。

また、本が好き人間なら誰もがやることだと思うが、勉強に疲れたり課題が一段落ついたときには書棚の間を散策し、興味をひいた本に目を通してみる。今のデジタル情報化社会では目的の情報にストレートに到達することができ、非常に効率的であるが、「知識の寄り道」の余裕が逆に少なくなっている気がする。図書館は目的を持って本を探すだけでなく、予期せぬ本との偶然の出合いの場でもある。そういう点でも、開館時間が長く蔵書の豊富な大学図書館は、知識の宝庫として自己の世界を広げてくれる空間だと思う。



達人その9 経営学部 3回生 吉田 幸司さん

**多数ある勉強スペースから、お気に入りの場所を見つけて利用。
DVD視聴、就職本の利用…空き時間を存分に活用できます。**

私はメディアライブラリーの施設では特に2階のトイレの近くにある第2閲覧室を頻繁に使います。仕切りがあり奥に広い第2閲覧室の机はしっかり勉強したい時にぴったりで、テストの勉強の時などには特に重宝しています。その他にもメディアライブラリーの2階や3階には勉強スペースが多数あり、それぞれ窓から見える景色や雰囲気が違うため私は勉強に疲れたときに気分転換として場所を移動したりしてました。

そのほかの施設でもAVコーナー・進路就職コーナー・



マルチメディアルームはよく使います。2階のAVコーナーでは学校内でもDVDやVHSなどの映像資料を見ることができるため

資格のDVDや映像資料を見て学習する際にとても便利です。職種や企業研究・SPIの本を豊富に取り揃えている進路就職コーナーは就活や進路について参考になる資料が1ヵ所に集められているので使い勝手がかなりよいです。特に進路就職コーナーについては3回生になって就職活動を意識し始めたあたりからよく立ち寄るようになり、やりたい仕事や将来について考える際とても役に立ちました。また、マルチメディアルームについてはレポートを作成する時はもちろんですが、それ以外にも私は「ちょっとした時間の息抜き」として利用することが多いです。学校に早めに着いてしまった時や休憩したい時など学校にいとちょっとした時間というのがよくできると思うのですが、そのような時間ができた時私はマルチメディアルームに立ち寄り、メールチェックや就職サイトの閲覧、データベースで情報収集などをして、空いた時間を活用しています。

達人その10 情報理工学部 3回生 木下 大輔さん

**文献から得た知識でよりよいレポートを作成。
蔵書検索システムで欲しい資料も簡単に見つかります。**

私は、レポート作成のために、よくオープンパソコンルームを使用します。家のパソコンで取り組んでも同じなのではないかと感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、図書館には非常に多くの文献があります。自分が行った実験と同じ実験について書かれた文献を参考にして、自分の実験がうまく行えているかを確認したり、使用した試薬の役割などを確認したりすることができます。また、分からないことがあれば、文献を用いて、すぐに調べることができるというのも大きな利点です。文献を用いることで、多くの知識が得られ、よりよいレポートを作成することができると思います。多くの文献から、自分の欲しい文献を見つけるのは大変なのではと感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、蔵書検索システムがあるため、そういった心配もありません。

また、私は自習スペースを利用することも多いです。自習スペースは静かで、集中して勉強に取り組むことができます。家ではテレビ、CDプレーヤーなど勉強の妨げになるものが多く存在しますが、図書館にはありません。このように、勉強に集中できるスペースは他にはないのではないのでしょうか？

それ以外にも、新聞閲覧室や、グループ学習室など、図書館には、多くの利用スペースがあり、勉強に取り組める環境が整っています。皆さんもどんどん活用してほしいと思います。





2007年度前期

利用ランキング発表!!



Ranking of The First Term

1 ベストリーディング

2007年度前期(4月~7月)、立命館大学図書館が所蔵する資料の中で最も多く貸出された図書のベスト10は以下の通りです。経済学、数学、物理化学からスポーツまで、幅広い分野の図書が貸出されていることが分かります。

順位	貸出回数	『タイトル』・著者・(出版社)・出版年
1	42	『国際経営論への招待』 吉原 英樹 編(有斐閣) 2002年
2	39	『スポーツで読むアジア』 平井 肇 編(世界思想社) 2000年
	39	『演習と応用微分方程式』 寺田 文行・曾布川 拓也 共著(サイエンス社) 2000年
4	36	『データベース』 速水 治夫・宮崎 収兄・山崎 清明 共著(オーム社) 2002年
5	35	『ボルハルト・ショア—現代有機化学問題の解き方』 N.E.Schore著(化学同人) 2005年
6	34	『アトキンス物理化学 上・下』 P.W.Atkins著(東京化学同人) 2001年
	34	『会社図鑑!業界別カイシャ・ミシュラン』 オバタ カズユキ 著(ダイヤモンド社)
	34	『東アジア共同体: 経済統合のゆくえと日本』 谷口 誠 著(岩波書店) 2004年
9	33	『微分方程式の基礎』 笠原 皓司 著(朝倉書店) 1982年
	33	『ラテンアメリカ経済論』 西島 章次・細野 昭雄 編著(ミネルヴァ書房) 2004年

立命館大学図書館では、キャンパスごとにそれぞれの教学の特徴に沿った資料を収集しています。衣笠キャンパスには哲学・歴史・政治・法律・経済・社会・教育・芸術・文学関係の図書が、びわこ・くさつキャンパスには経済・経営・自然科学全般・技術関係の図書が充実しています。また父母教育後援会の支援により、各種資格試験・採用試験に役立つ資料も備えています。立命館アジア太平洋大学の蔵書もあわせると、その数は約270万冊になります。

これらの図書は、「館内利用」に指定されているもの等を除いて、取り寄せすることができます。例えば読みたい図書が所属キャンパスの図書館になく他キャンパスの図書館にある場合、直接他キャンパスに足を運ばなくても、その図書を所属キャンパスの図書館に取寄せて貸出をすることができます。また他の方が貸出されている図書に予約を行い、返却され次第予約順に貸出を受けることもできます。

こうした制度も活用して、本学に所蔵されている多様な資料をぜひ積極的に利用してください。そこから得られる知識や情報によって、皆さんの学生生活がより豊かなものになることを願っています。



Ranking of The First Term 2 文庫・新書貸出ランキング

2007年度前期(4～7月)に立命館大学図書館で最も多く貸出された文庫・新書は、以下のとおりでした。政治・経済・法律関係の新書が上位となっています。近年は、分量や値段の手頃さや読みやすさといった理由から、内容・分野ともに充実した新書が多く出版されています。専門の入門書としても読むことができます。

順位	貸出回数	『タイトル』・著者・(出版社)・出版年
1	26	『国連とアメリカ』 最上 敏樹 著 (岩波新書) 2005年
2	24	『裁判員制度』 丸田 隆 著 (平凡社新書) 2004年
3	21	『グローバリゼーションとは何か』 伊豫谷 登士翁 著 (平凡社新書) 2002年
4	20	『バナナと日本人』 鶴見 良行 著 (岩波新書) 1982年
	20	『社会認識の歩み』 内田 義彦 著 (岩波新書) 1971年
6	18	『歴史とは何か』 E.H.カー 著; 清水 幾太郎 訳 (岩波新書) 1962年
7	17	『比較のなかの日本国憲法』 樋口 陽一 著 (岩波新書) 1979年
	17	『異文化理解』 青木 保 著 (岩波新書) 2001年
9	16	『貧困の克服』 アマルティア・セン 著; 大石 りら 訳 (集英社新書) 2002年
	16	『国際連合: 軌跡と展望』 明石 康 著 (岩波新書) 2006年

図書館では、各学部の教学に関する資料を中心に収集しています。また、学生の皆さんに幅広い教養や読む力をつける一方、読書の楽しみを知ってもらうために、いくつかの文庫・新書を継続的に購入しています。各館で毎月出版される新刊を全て継続購入している主な文庫・新書は、次のとおりです。

衣笠図書館	BKCメディアセンター	BKCメディアライブラリー
ちくま文庫	ブルーボックス	文春文庫
平凡社新書	ちくま文庫	文春新書
岩波文庫	ちくま学芸文庫	ちくま新書
岩波新書	中公文庫	平凡社新書
角川oneテーマ21	中公新書ラクレ	日経文庫
光文社新書	岩波文庫	日経ビジネス人文庫
生活人新書	岩波新書	PHP新書
集英社新書	新潮文庫	集英社新書

ぜひこの秋、図書館の文庫・新書の本棚から新たな世界への扉を開いてみませんか？

3 Ranking of The First Term 視聴覚資料利用ランキング

図書館では、視聴覚資料を多数取りそろえています（館内利用）。2007年4月から7月までの利用が多かったものを紹介します。

順位	利用回数	『タイトル』・監督
1	16	『メリーに首ったけ』 ポビー・ファレリー、ピーター・ファレリー 監督
2	15	『羊たちの沈黙：特別編』 ジョナサン・デミ 監督
3	14	『シザーハンズ：特別編』 ティム・バートン 監督
	14	『7人の侍』 黒澤明 監督
5	12	『X-ファイル：序章、ディープ・スロート、スクィーズ、導管』 クリス・カーター 監督
	12	『青の炎』 蜷川幸雄 監督
7	11	『X-ファイル：ジャージー・デビル、影、機械の中のゴースト、氷』 クリス・カーター 監督
	11	『ダーク・エンジェル』 ジェームズ・キャメロン、チャールズ・エグリー 製作総指揮
9	10	『映像の世紀：大量殺戮の完成 塹壕の兵士たちは凄まじい兵器の出現を見た』 NHKソフトウェア
	10	『勝手にしやがれ』 ジャン・リュック・ゴダール 監督

利用にあたっては、各図書館の視聴覚資料コーナーで視聴したい作品のケースを選び、カウンターにて貸出手続きをおこなってください。ヘッドフォンを受け取り、所定の場所で視聴することができます。

グループ閲覧室（学習室）を利用し、グループで視聴することも可能です。予約が必要になりますので、詳細は図書館カウンターまでお尋ねください。多くの皆様のご利用をお待ちしています。



about

Library Staff



🗨️ What's 学生ライブラリースタッフ?

学生ライブラリースタッフは、図書館で様々な活動をしています(通称LS)。利用者である学生の視点と図書館のスタッフの視点を生かし、学生ならではの提案や実行力で、よりよい図書館と図書館サービスを目指して、活動しています。

🗨️ ライブラリースタッフのお仕事とは?

図書館で、本をつぎつぎに書架に戻している人を見たことがありませんか? ライブラリースタッフの業務は大きく3つに分けることができます。基本業務、ガイダンス業務、プロジェクト業務です。日々さまざまな業務をおこなっているライブラリースタッフの基本の「き」、基本業務について、今回はご紹介します。

🗨️ ライブラリースタッフの基本業務

ライブラリースタッフが最も多く時間と労力をかける業務が、基本業務です。基本業務がきちんとできるようになったら、一人前のスタッフとみなされます。基本業務は、配架・書架整理・不明本調査・質問対応・書き込み本補修の5つからなっています。

- **配架** ……返却された図書を元の書架に戻す
- **書架整理** ……書架を見やすく請求記号順に整理する
- **不明本調査** ……行方不明になっている資料を探し出す
- **質問対応** ……利用者からの質問に応える
- **書き込み本補修** ……図書の書き込みを消す ※図書館の資料の書き込みは禁止されています!



ライブラリースタッフミーティング



書架整理

＼ チーフにきく学生ライブラリースタッフのやりがい・これからについて /



衣笠 チーフ
国際関係学部 3 回生
井上 幸栄子さん

私 がLSの仕事で最もやりがいを感じる時、それは図書館と利用者さんの変化に出会った瞬間です。返却台の本を片付けきったとき、自分たちの作った掲示物が利用者さんの楽しかった表情を笑顔に変えたとき、少しのアドバイスで探していた本が見つかってほっとした顔になったとき。このような瞬間LSとして図書館に関われていることを嬉しく思います。

LSのみんなの意識は高く、図書館について話し始めると次々にアイデアが飛び出てきます。意欲的なスタッフと過ごす充実した時間の中で、自分を高めていくことができるということもLSの素晴らしいところです。

学生としての視点で図書館に対する提案をするのは、LSの持つ大きなメリットの一つです。そのメリットを最大限に活かし、よりよい図書館作りにLSみんなで協力し活動していきたいと思っています。

L Sの仕事の中で、探している図書が見つからないといった質問に応えることは、直接利用者に対してできるので、特にやりがいを感じます。また、LSの仕事の魅力は、やる気さえあれば基本業務のほかにもプロジェクト活動という、主体的に図書館のサービス向上を目指す活動で業務内容の幅を大きく広げられることだと思います。特にプロジェクト活動はメンバーと意見を交換し考えるだけでなく、業務で得た知識や技術を他にも生かせるため、大変楽しく自分のモチベーションもあがります。

ただ、あくまでLSの仕事は利用者にとって良いサービスを提供することが目的なので、業務やプロジェクト活動が自己満足で完結せず、結果を出すことを常に課題として意識していきたいと考えています。他のアルバイトとはこのように業務に対する意識が違うところがあるので、業務を継続するのに大変なこともあります。その分得られるものも非常に大きいと思っています。



BKC チーフ
理工学部 3 回生
村上 晋平さん

次回はプロジェクト業務について紹介します。どうぞ期待!

立命館大学図書館開設百周年 記念展覧会・シンポジウム

立命館大学図書館は2005年に開設100周年を迎え、
2005年より3年計画で推進してきた図書館創立百周年記念事業の最終章として、
本学所蔵の明治・大正期の資料を中心に立命館大学と近代文学のかかわりをテーマとする
展覧会・シンポジウムを開催しました。

記念展覧会

立命館と立命館をめぐる文人たち ～与謝野鉄幹・晶子、山田美妙を中心に～

■衣笠キャンパス

日程／2007年10月23日(火)～11月17日(土)

場所／衣笠図書館1階閲覧室

■びわこ・くさつキャンパス

日程／2007年11月20日(火)～11月30日(金)

場所／メディアライブラリー内3階多目的閲覧室



山田美妙

立命館大学所蔵の与謝野鉄幹・晶子らの写真の裏に、2人の直筆の書き込みがあることが発見され、記念展覧会では、その裏書きの写しも公開しました。晶子が写真の裏に記していた短歌は新発見の可能性があり、来場者から熱心な視線を集めていました。

記念シンポジウム

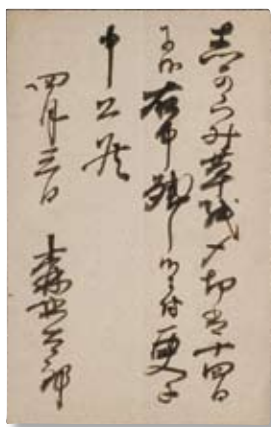
「文学・明治二十年前後～立命館所蔵資料を手がかりに～」

日時／2007年11月16日(金) 13:00～17:00

場所／衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム



「夏木立」美妙自筆原稿



美妙あて森鷗外からのハガキ



「画本」美妙自筆資料



「毒草」内表紙

新規データベースの導入

2007年度後期に、以下のデータベースが追加され、オンラインで収集できる情報の幅が広がりました。

学習・研究に、お役立てください。

*いずれのデータベースも、図書館ホームページ「論文・記事検索（データベース）」から利用できます。くわしくは次のページをご覧ください。

	データベース名	言語	概要
B	Beck-Online 	ドイツ語	ドイツ法関係の総合データベースで、ドイツの法律雑誌、コンメンタール、各州の法令集、判例の検索ができます。
C	中国学術文献 オンラインサービス (経済・政治・法律) 	中国語	これまで文学、史学、哲学分野について記事本文の表示まで可能でしたが、ここに2006年度以降の経済、政治、法律分野が追加されました。
D	Declassified Documents Reference System 	英語	米国政府の各種機密情報のうち、研究調査機関などの強制審査請求により時効前に機密解除された文書を中心に、1941年以降の約78,000点を収録したデータベースです。
	The DSI Campus Solution 	英語	EU・国際経済統計データベースです。Eurostat StatisticsやComextといったEU内外の統計をはじめ、OECD、IMF、UNIDO、ドイツ連邦統計局のデータをカバーしています。
E	EBSCOhost Film & Television Literature Index with Full Text 	英語	新たに映像関係の電子ジャーナルコレクションである「Film & Television Literature Index with Full Text」が加わりました。EBSCO host収録の他のデータベースと横断的に検索できます。
	e-library [World bank Online] 	英語	世界銀行が1987年以降に出版した4,000以上の資料に、冊子体で刊行されない情報も加えて全文を検索することができます。
G	Global Development Finance Online [World bank Online] 	英語	対外債務や資金の流れなど、1970年以降の130以上の国についての金融指標のデータです。
H	Hein-On-Line 	英語	米国で発行されている法学分野の雑誌1,000タイトル以上について、全文を検索できるデータベースです。これまで法学部、法学研究科、法務研究科に利用が限定されていましたが、10月から全学での利用が可能になりました。
I	International Financial Statistics 	英語	国際通貨基金 (IMF) が提供する国際金融統計です。

	データベース名	言語	概要
K	聞蔵II ビジュアル 	日本語	バージョンアップし、2005年11月以降の朝日新聞の記事について、切り抜きイメージで表示させることが可能となり、1945～84年の縮刷版も検索できるようになりました。
	Korean Academic e-Journal (KISS) 	朝鮮語	韓国で発行されている学術雑誌約1,300タイトルについて全文記事検索ができます。英語や日本語の文献も収録されています。
M	毎日 News パック 	日本語	『毎日新聞』記事の全文検索が可能で、1987年1月から収録されています。また、『週間エコノミスト』の全文記事についても、1989年11月分から検索可能です。
	Medical Online 	日本語	国内発行の医学関連の学会誌や専門誌約500タイトルの全文記事検索ができます。
	Mergent Online 北米版 	英語	北米地域の企業についての企業・財務情報データベースで、企業概要、社史、資産、配当、役員、債券格付などに加え、アニュアルレポートや有価証券報告書も収録しています。
O	Opposing Viewpoints Resource Center 	英語	妊娠中絶、死刑廃止、銃管理といった現代社会の様々な論点に関する英語資料を集めたデータベースです。英語による議論や思考能力を高めることを目的とした学習用教材です。
R	理科年表プレミアム 	日本語	『理科年表』の電子版で、国立天文台が80年間蓄積されたデータを検索することができます。
S	小学館 コーパスネットワーク BNC online 	英語	イギリス英語の話し言葉と書き言葉を約1億語収録したデータベースで、言語研究や英語学習に有益です(ネットスケープではログインできませんのでご注意ください)。
T	The Times Literary Supplement 	英語	英国の新聞The Timesの書評誌The Times Literary Supplementの創刊(1902年)から1990年までの全文を検索できます。
W	World Development Indicators Online [World bank Online] 	英語	200カ国以上18地域について、1960年以降の開発指標の統計データです。

図書館ホームページのリニューアル

10月15日に図書館のホームページを一新しました。学生・教員の皆さんの声をもとに改修、学習に、研究に、必要な情報へアクセスしやすくなりました。

トップページ

トップページは、よく使う機能が
見やすいレイアウトになりました。

- ① トップページからすぐに**蔵書検索**ができるようになりました。
- ② 検索ページ・MyLibraryへは、大きめのボタンが設けられ、入りやすくなりました。
- ③ メニューがわかりやすく分類されました。
- ④ **開館スケジュール**のミニカレンダーがトップページに表示され、確認しやすくなりました。
- ⑤ 図書館からのお知らせが、ひと目で分かるようになりました。



論文・記事検索

「論文・記事検索 (データベース)」のページでは、
必要なデータベースが、探しやすくなりました。

- ① 「新聞記事を探したい」「E-Journalで論文全文を読みたい」など、資料タイプ別の目的が決まっている場合に、「**目的別**」から一覧できるようになりました。
- ② 「経済関連の記事を探したい」「化学に関する論文を見つけたい」など、主題が決まっている場合に、「**主題別**」から一覧できるようになりました。
- ③ 「CINiiを使いたい」「日経テレコンを使いたい」など、使うデータベース名が決まっている場合に、「**アルファベット順**」からピンポイントで利用できるようになっています。
- ④ データベースの「**メンテナンス情報**」「**トライアル情報**」「**新着情報**」が見やすくなりました。

その他のページも分かりやすく＆見やすくなりましたので、学習・研究の様々な場面でご活用ください。
今後もひきつづき内容を充実していきます。ご期待ください。